

部会名	第4次産業革命とテレワーク研究部会
背景 実施目的	<p>○【問題意識】 今後5年間で500万人が失業する。2016年1月、「世界経済フォーラム(WEF)」の年次総会で、テクノロジーが雇用に及ぼす変化を評価した報告書「The Future of Jobs(仕事の未来)」が発表された。報告書は、企業や働き手に対し、テクノロジーがもたらす近未来の変革に備えるよう促している。「人工知能(AI)、機械学習、ロボット工学、ナノテクノロジー、3Dプリント、遺伝学、バイオテクノロジーなど、これまでバラバラに開発が進んでいた分野が統合するにつれて『第4次産業革命』が起こる。これにより今後5年のうちに、ビジネスモデルだけでなく労働市場全般に破壊的な変化が生じる。」と指摘している。第4次産業革命は明らかに「働き方の変革」を要求してくる。</p> <p>○【実施目的】 本研究部会の目的は、このような変化の現状を客観的に捉えるための研究を通じて、テレワークがどのような影響を受けるかを検討し、第4次産業革命下の社会でどのようなワークスタイルが必要とされるかを考察する。</p> <p>○【活動方針】 今期は、主としてAIの分野の研究者等との交流により、今後起こりうる社会変化を研究し、雇用面でどのような職業がAIに代替され、どのような新たな雇用が創出されるかを分析する。そして、そこでのテレワークの課題や対策を深掘りする。</p>
活動内容	<p>○研究項目(例)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第4次産業革命により衰退する可能性のある職業 2. 第4次産業革命により新たに創出される可能性のある職業 3. 第4次産業革命で求められるテレワークの課題 4. 第4次産業革命でのテレワーク実施上の課題に対する対応策 <p>○会合予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月～3月に2ヶ月に1回、全4回程度開催 <p>○実施形態</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業訪問(部会参加企業、他)とディスカッション 2. 講演・事例発表とディスカッション 3. アンケートとディスカッション
部会長	三浦 拓馬 (いわきテレワークセンター)
アドバイザー	選定中
事務局	今泉 千明 (日本テレワーク協会)